

九大病院QUEST - MAP (平成19年6月7日プレス発表用)

シート名	病院シート	使命(ミッション)とビジョン		重点的に対応すべき環境変化	重点的に強化すべき強みと克服すべき弱み
シート番号	-	<ミッション>	<ビジョン>	・高度専門医療に対するニーズの高まり ・安全、情報開示に対するニーズの高まり ・医療費抑制、診療報酬引下げによる収入減への対応 ・健全経営への社会的要請の高まり ・医療分野の科学研究予算の増加 ・新研修医制度による研修医の大学離れ/流動性の高まり ・地域連携、アジア連携への期待	<強み> ・医歯科一体で、かつ高度先端医療の提供が可能 ・優良な医師と恵まれた環境の中での教育・研究が可能  <弱み> ・規模が大きく、組織としての一体感を更に強化する余地がある ・外部資金の拡充が課題
シート対象期間	H18年4月～H22年3月	患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供	教育・研究・診療の三位一体を推進する国際的医療拠点の形成		
作成責任者名	水田 祥代				
責任者役職名	病院長	将来構想の方向性(主要達成目標)	改革の重要成功要因		
18年4月現在	医師 260名 (病院所属のみ)	高度先進医療、包括的で継続的な総合診療を提供し、地域に貢献する病院	・医療体制整備のための財源確保 ・経営の裁量権の広がり ・全職員による目標の理解と共有 ・職務へのやりがいと病院への愛情を持った組織		
部門スタッフ構成	技術系 949名 事務系 143名	国際的に最高水準の高度先端医療分野の研究を実施するアジア諸国に開かれた医療拠点			
病院収入	361億円(含交付金)	全人的な医療を担う医療人を育成する病院			
病院費用	356億円	財務的に健全な経営の病院			

視点	戦略マップ(シナリオ)	目標No.	戦略的目標	責任者(サブ)	重要成功要因(CSF)	QUEST指標(KPI)	
						No.	
<b>外部 ステークホルダー の視点</b>  (患者・家族 医療機関 地域、行政 企業、 アカデミア 世界)		1	患者さんの医療、療養環境、サービスの満足度を高める	吉良(岩村)	患者さんへの説明の徹底と患者自身の医療への参加 患者さんの視点に立った医療、サービスの提供	1	患者満足度調査の「医療サービス・人の要因」の点数
		2	高度先進医療機関、中核病院として他の医療機関からの信頼度を高める	石橋	予約診療の徹底・待ち時間の短縮 紹介元への逆紹介と情報提供の徹底 救急患者・難治性疾患の受入れ増 特色ある医療の提供	2	患者満足度調査の「医療サービス・人以外の要因」の点数
		3	臨床教育機関としての高い評価を受ける	林	魅力的な臨床研修カリキュラム 魅力的な臨床指導者	3	外来新患者数/年間
		4	臨床研究で高い評価を受ける	古谷野	病院内外との連携の推進 大学内外との連携の推進 国際的共同研究への参加と主導	4	待ち時間(再来予約患者で受付から診療開始までの時間が 分以上の割合)
		5	広報活動を充実し、九大病院の認知・理解を高める	吉良(西川)	ホームページ情報提供の充実 市民の医療・医療提供体制への理解度向上(適切な期待値の醸成)	5	逆紹介率
<b>内部 ステークホルダー の視点</b>  (業務プロセス 職員 研修生 実習生の 成長と イノベーション)		6	職員のモチベーションを高める	中畑(後・加藤・西川)	専門家として成長できる職場 誇れる九大病院としての帰属意識の醸成 チーム医療の確立による働きやすい職場 柔軟な人事 業務改善と超過勤務低減	6	広域圏受診者率
		7	全人的医療が行える医療人を育成する	林(中畑)	患者さんとの双方向コミュニケーション 他の職員への尊敬とチームワーク	7	紹介患者受入数
		8	医療の安全性を確保する	石橋	医療従事者の知識・技術・意識向上のための教育・研修 インシデントの分析・対策の共有	8	初期研修医のマッチング人数充足率
<b>医療環境 教育研究環境 の視点</b>  (施設・設備・ 制度)		9	地域医療連携体制、中核医療機関としての体制を構築する	吉良	医師の地域医療・在宅医療への関心や理解の向上 ネットワーク病院の確保	9	研修プログラム評価の「後輩に薦める率」
		10	高度先端医療の研究とその提供体制を構築する	古谷野・中西	クリティカルパスの推進 7対1看護体制の確立	10	EPOC達成率の平均
		11	国際化推進体制を構築する	古谷野	医師の地域医療・在宅医療への関心や理解の向上 ネットワーク病院の確保	11	研修プログラム評価の「指導の評価」スコアの全国順位
<b>財務内容 業務運営 点検・評価 の視点</b>		12	外部資金の獲得を増やす	本田・中西	関係病院と連携した臨床研究推進体制(ネットワーク)の構築 国際的共同研究への参加と主導	12	後期(専門医)研修医の数
		13	医療収支を改善する	本田(東島・大賀)	間接費のとれる大型の科研費の増 治験数の増 寄付金の増	13	ハイクオリティジャーナルでの臨床論文採用数
		14	全職員が参加して、継続改善のしくみを構築する	後(河野)	医療機能評価やBSC(QUEST-MAP)の活用 客観的な状況把握を促進するデータや指標の活用	14	高度先進医療の申請件数
		15	全職員が参加して、継続改善のしくみを構築する	後(河野)	医療機能評価やBSC(QUEST-MAP)の活用 客観的な状況把握を促進するデータや指標の活用	15	受託研究数